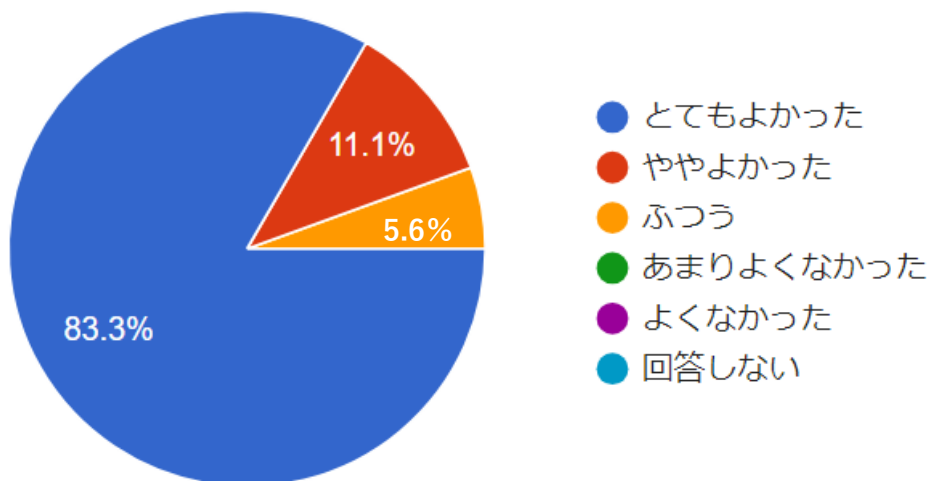
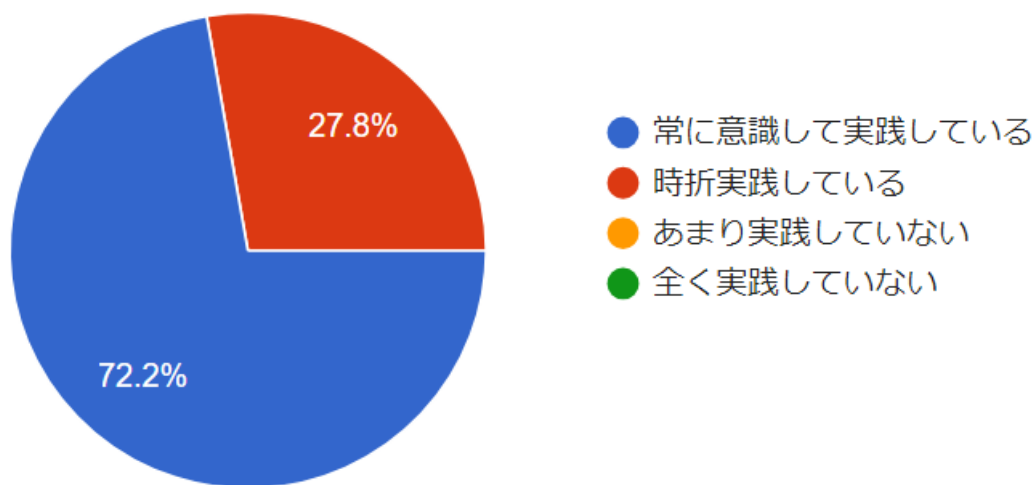


食品ロスを削減しようー食品業界に携わって築いたキャリアー
(佐保会大阪支部講演会 2024年3月3日) アンケート結果

I 講演会はいかがでしたか？



II 食品ロス削減についてのこれまでの実践について



III 講演会についての感想などを自由にお寄せ下さい。

- 具体的な数値を示し、ロスを減らすことが経済効果も生むことがよく判った
- 食品ロス削減に関しては、なかなか国主導ではことが進みそうにはないのかとやや落胆しました(他国の例を聞き)。しかし、大切な事を社会に伝え続ける重要性、その結果が必ずカタチとしてあらわれるのだと感じました。
- 井出留美さんの活動に以前より注目していたので、身近にこのような機会に拝聴でき、ありがとうございました。

- きっと、同窓会の講演会ということで、いつも以上にこれまでの経歴・点と点がつながった、転機のお話もされたかと、より興味深く耳を傾けました。
- 自分なりに身近なところから、出来ることに取り組んでいこうと思います。
- 毎回、参考になる食品ロスを無くす取り組み方、提示ありがとうございます。この数年で、我家の冷蔵庫も、週に一度、日持ちする物以外ほぼ空になりました。^o^
- 社会が変わるためには、法律整備が必要ですね。
- 井出み様の政治家への呼びかけが、みのることを願ってます。
- 本日のご講演で特に印象に残ったのはごみの焼却割合が日本がワースト 1 であったということです。処理機をもっていないので乾かすことは難しいですが、できるだけ濡らさないようにしたいと思いました。
- 理想はそうですが具体案が示されていない、と言うと自分が動かないといけないのであまり強く言えないのですが。折角分別しても収集車が一つにしてしまったりしています。国、地方公共団体が動いてくれることを祈っています。これも他力本願的ですね・・・余った食品は貧困国に無償で(燃やすために使われる税金を運搬に回す)送ることはどうでしょうか。
- 井出先生の著書も拝見しており、ご活躍は存じ上げているつもりでしたが、様々なご苦勞が土台となっておられることを知りました。先生のご健康と今後の益々のご活躍を祈念しております。ありがとうございました。
- 食品ロスは感覚的に食べ物もったいないという考えのみだったが、食べ物のみならず私たちのお金も税金も地球にも無駄なものであることを痛感しました。これは私たちの日頃の心がけのみならず社会的なシステム、慣習の大幅な改革が必要であることがわかりました。
- 大学時代ニコニコ静かだった井出さんが怒る理由がよくわかりました。ありがとうございました。
- とても和やかな会で、井出様がいつもに増して軽やかに楽しくお話しされていて感激いたしました！私は附属中高卒の男子ですが、奈良女子大はいつも身近に感じ、附属卒を誇りに思います！同窓の皆さまが主宰し、後輩を招いて講演会を開催され、たくさんの方がお集まりになる素晴らしい場に参加できてとてもうれしかったです！
- 食品ロスについて、量（キログラム・トン）だけではなく、金額（円）で示すことはとても効果的だと思いました。
- 自分たちが食べ残したり、手前どりをしなかったことで破棄されてしまう食品ロスは、家庭系ではなく事業系の廃棄としてカウントされているというお話について。何となく発生場が線引き（区分）されているとどこかで自分とは関係ないと線引きしてしまいがちなところがあると思います。今回、説明をしてくださったことで、事業系の食品ロスも消費者の消費活動に関係しているんだと言うことがよく理解できて、より全体を自分ごととして捉えることができました。ありがとうございました。

- 同窓生の御活躍ぶりを嬉しく存じました。
- 廃棄以外の食品業界の問題点もききたかった。業界人ならではの踏み込んだ告発がききたかった。良い点は全スライド資料が配布された事、漫画資料が親しみやすかった事、時々笑いが有った事、原価による書籍販売が売買双方の利益に成った事です。
- たいへん勉強になりました。国や自治体による対策が効果的かとは思いますが、身近な家庭での実践も必須なので、消費者教育や意識改革など、多方面からの取り組みが求められるたいへん重要な課題だと痛感しました。
- 具体的なお話や知らなかった事を聞くことが出来て良かったです。先生のプライベートの調味料の話もとても共感しました。有意義な講演会を開いて頂きありがとうございます。
- 食品ロス削減の本筋をしっかりと持たれたトップリーダーだと確信しました。いろいろなところで縦横無尽に食品ロス削減の仕掛けや取り組みを期待しています。貴重なお話を聞くことが出来て良かったです。ありがとうございました。
- 恵方巻きなどの作り過ぎによる、食品ロスの損害を、コンビニ企業(親事業者)は受けない現象について、代議士の方が、下請け法で、規制できるのでは？と、言われたようですが、フランチャイズ会社(下請け会社)が、注文を出す事と資本金の区分から、下請け法には、抵触しないと思います。
- コンビニ企業から販売促進の勧奨を受けても、フランチャイズ会社が、過去の実績と天気+AI などを使って出された、今まで以上に確率度の高い数値を根拠に、注文が出来るようになる支援をするほうが、食品ロスを低減につながると思います。
- 幅広い参加者で、ご活躍ぶりを頼もしく感じました。
- 昭和世代は 節約精神があり実践していると思いますが、若い世代の消費社会の洗礼を受けた人たちへの 食品に限らず、働きかけの必要を感じます。今後のご活躍を楽しみにしています。
- 今後も井出さんのご活躍を楽しみにしています
- 軽快な語り口で大変わかりやすいお話でした。データや取材をもとにしたお話から、食品ロスに関する理解が深まりました。とかく、企業や行政に期待しがちですが、まずは消費者一人一人が食品ロスを減らすよう意識する必要があるとあらためて実感しました。また、ご経歴からキャリア形成について、行動すること、発信すること、ともに活動する方々を大事にすること等の重要性を感じました。